

2 連続立体交差事業（南海本線・南海高野線）の推進について



【提案・要望先】国土交通省

堺市国土強靱化地域計画取組事業

～提案・要望事項～

- 踏切除却による交通渋滞の解消及び安全性の確保などのために、連続立体交差事業（南海本線・南海高野線）の推進に必要な予算を継続的に確保すること。

【現状と課題】

《南海本線連続立体交差事業》

- 高架化に向けての仮線の敷設を早急に達成するために、集中的な予算投下が必要。
- 本年度は曳家が完了した諏訪ノ森駅(旧駅舎)の改修や、浜寺公園駅に引き続き旧駅舎を活用した市民協働のまちづくりを推進。

《南海高野線連続立体交差事業》

- 踏切事故や交通渋滞の解消及び本市の中心市街地の活性化に大きな役割を果たすために、早期事業化に向けた調査・設計が必要。
- 鉄道概略設計及び環境影響評価を実施するとともに、関連事業を含めた都市計画素案を作成しており、本年度中の都市計画決定を予定している。

【連続立体交差化のメリット】

- 踏切を除却し、交通渋滞の解消及び安全性の確保(交通渋滞、踏切事故がゼロに)
- 快適な駅利用の実現
- 市街地の活性化
 - 南海本線：旧駅舎保存活用による市民協働のまちづくり
 - 南海高野線：駅前交通広場の再整備による、交通結節点としての機能強化
駅周辺の道路交通の円滑化

◆南海本線連続立体交差事業



諏訪ノ森駅(旧駅舎) 曳家状況



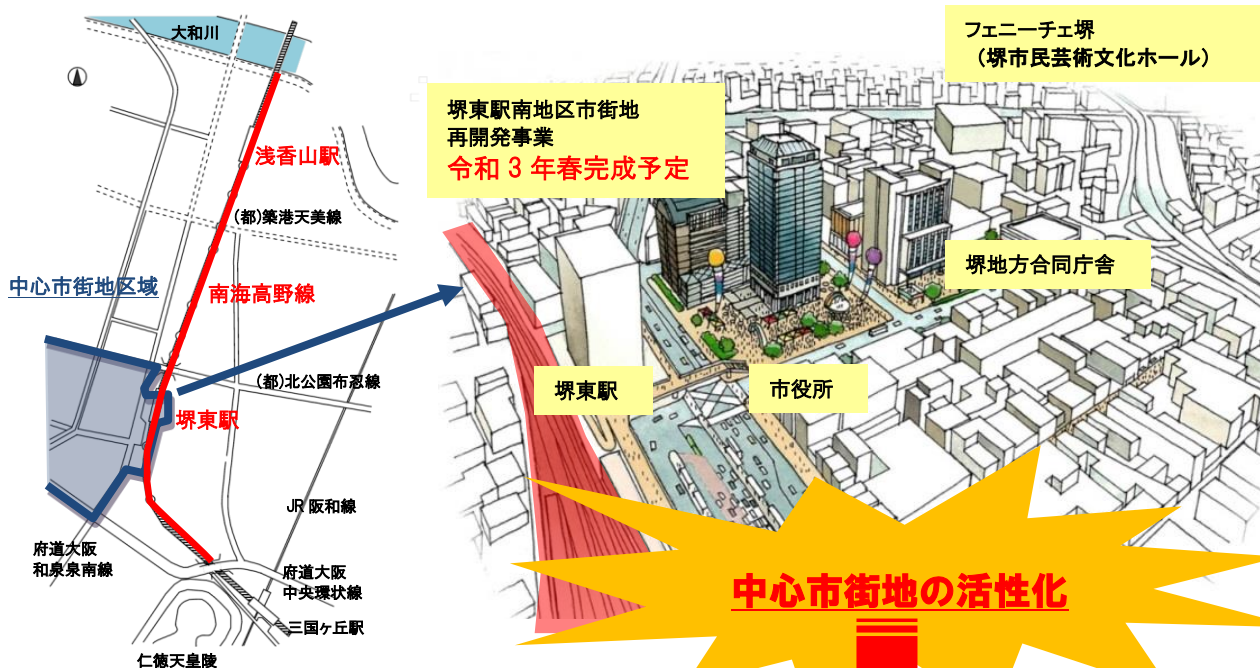
仮橋梁部 仮線施工中



仮駅部 仮線施工中

事業費の安定的な確保が不可欠。
国庫補助金の確保が困難となれば、
仮線工事及び高架工事の進捗が遅れるため、
事業効果の発現時期に影響大。

◆南海高野線連続立体交差事業



【事業区間 L=約 3.0km】

中心市街地の活性化

**本市の玄関口としてふさわしい
まちづくりに大きく寄与！**

平成 29 年度
平成 30～令和元年度

令和 2 年度
令和 3 年度

着工準備補助制度へ移行
予備設計（側道、駅前広場等関連事業）、
環境影響評価実施、都市計画素案作成
都市計画決定（目標）
事業認可取得（目標）

◆事業費及び国庫補助額

南海本線 連立	令和元年度 連続立体交差費補助	令和2年度 連続立体交差費補助	令和3年度（見込額） 連続立体交差費補助
事業費	1,600,000千円	1,940,000千円	1,500,000千円
国庫補助額 （要望額）	880,000千円 （1,100,000千円）	1,067,000千円 （1,072,500千円）	【要望額】 【825,000千円】
南海高野線 連立	令和元年度 連続立体交差費補助	令和2年度 連続立体交差費補助	令和3年度（見込額） 連続立体交差費補助
事業費	82,000千円	88,000千円	100,000千円
国庫補助額 （要望額）	41,000千円 （78,000千円）	44,000千円 （50,000千円）	【要望額】 【50,000千円】

【本件に関する連絡先】

建設局 連続立体推進課長 山路 智志 (TEL:072-228-7573)